

【経営発達支援計画 評価委員会報告書】

(1) 日時・会場	
1. 平成29年9月5日(火) 10:30~12:30 大町商工会議所 2階中会議室	
(2) 出席者	
1. 中小企業診断士、経営コンサルタント	太田敬治 氏
2. 中小企業診断士	伊藤正昭 氏
3. 大町市産業観光部部長	竹村静哉 氏
4. 大町商工会議所事務局長兼中小企業相談所長	鷺澤恒夫
5. 大町商工会議所中小企業相談所経営支援課長	小日向まゆみ
6. 大町商工会議所中小企業相談所経営支援課係長	西澤文明
(3) 各委員からの講評	
1. 中小企業診断士 経営コンサルタント 太田敬治 氏 ①創業支援並びにIT関連事業に対し積極的な支援が伺える。これらは、事業者の潜在的な悩みを解決するためのもので、平成29年度以降も継続したスタンスを保ってほしい。 ②既存事業と新規事業が両立できていたと思う。本年度も継続して進めてほしい。	
2. 中小企業診断士 伊藤正昭 氏 ①事業の幅、数共に多いので事業実施は大変だと思う。 ②事業承継問題は、別の側面からすると創業であり街の活性化にもつながるため、支援に力を入れていただきたい。 ③事業の必要可否と有効性の有無、その整合性を踏まえ事業消化に努めてほしい。 ④商工会議所として会員の力になるために、情報の共有と支援力のスキルアップを図る。	
3. 大町市産業観光部部長 竹村静哉 氏 ①大勢が集まる会場ではなかなか発言できない会員もいると思われる。巡回や訪問により顔の見える形で、要望や意見の把握に努めていただきたい。 ②時代の潮流に合った会員向けプログラムの開発を願うと共に、従前のプログラムについては、その効果を検証する中でスクラップすることも視野に入れて検討いただきたい。	
(4) 評価委員会からの指摘に基づく平成28年度から平成29年度への改善事項について	
1. 支援機関との連携を緊密に行い、支援の主となるよりもコーディネーター的な役割を担ってほしい。 2. BIZミルを事業の中心に据えて、中核的な情報の集約を行っていただきたい。 3. 全ての経営課題解決が、街の活性化につながることを念頭にイベントなどを起爆剤にした潜在的創業者の底上げを期待する。 4. ふるさと納税返礼品取扱業者に関しては、大町市の担当部署とも連携し、同行も含め管内事業者の販路拡大を積極的に行ってほしい。 5. ホームページでの情報リリースの更新頻度を上げるようにしてほしい。 6. BMは事業者にとってメリットが高いため、より積極的に周知をし販路拡大に努めてほしい。	